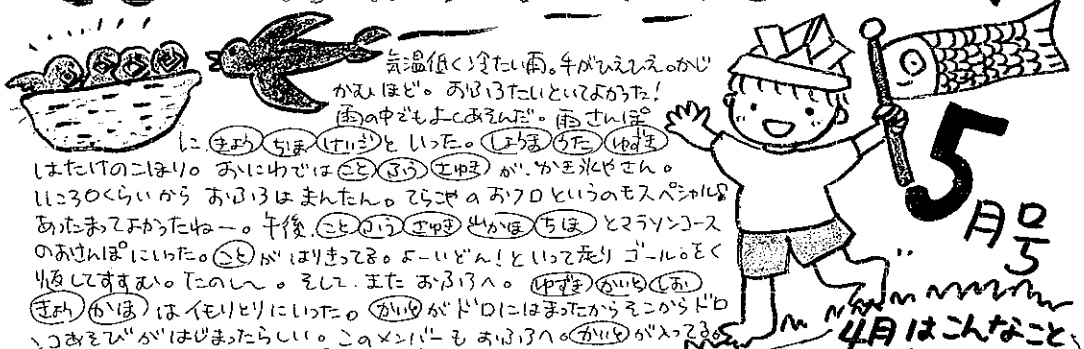
令和5(2023)年5月8日発行　第144号

こびとのおうちえんLetter



気温低く冷たい雨。手がひえひえ。かじかむほど。お風呂たいといてよかった！
雨の中でもよくあそんだ。雨さんぽに(きょう)(ちほ)(けいご)と行った。(しょうま)(うた)(ゆずき)はたけのこほり。おにわでは(こと)(ふう)(ゆま)が、かき氷やさん。いろろくらいから おふろはまんたん。てらこやのおフロというのもスペシャル♪あたまあてよかったねー。午後、(こと)(ふう)(ゆま)(しゅか)(ちほ)とマラソンコースのおさんぽにいった。(こと)がはりきってる。よーいどん！といって走り ゴール。とく順してすすむ。たのしー。そして、またおふろへ。(ゆずき)(かいり)(しおん)(きみ)(かほ)はイモリとりにいった。(かいり)がドロにはまったからそこからドロンコあそびがはじまったらしい。このメンバーもおふろへ(かいり)が入ってるしてだ。うれしいな。今日、ほぼ全員がおふろの日。(4/25)

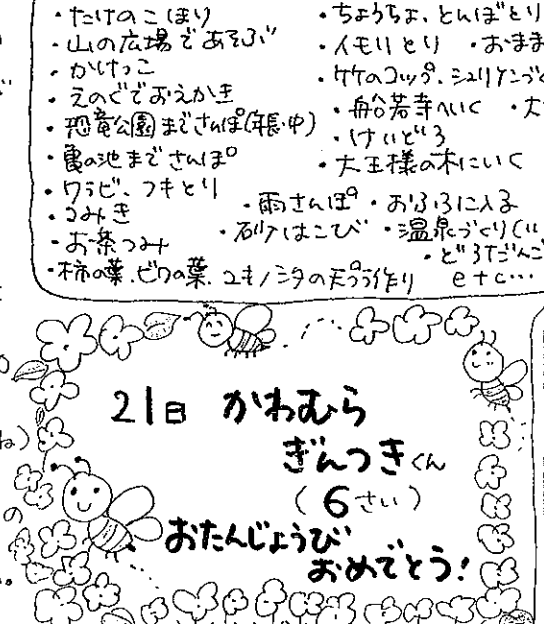
4月はこんなことしました

・鼓ヶ浦であそぶ(モズクとり！)
・たけのこほり
・山の広場であそぶ
・かけっこ
・えのぐでおえかき
・恐竜公園までさんぽ(雨傘ゆ)
・魚の池までさんぽ
・ワラビ、フキとり
・つみき
・お茶つみ
・柿の葉、ビワの葉、ユキノシタのたっぷりとり
・ちょうちょ、とんぼとり
・イモリとり
・おままごと
・竹のコップ、シュリケンづくり
・船岩寺へいく
・大なわ
・けいどろ
・大王様の木にいく
・雨さんぽ
・おふろに入る
・砂ハこび
・温泉ごっこ(!!!)
・どろだんごづくり
etc…

5月のペアレンツグループ

子育ては自分育て。今、どんな「私」でいますか？
「話す」こと、「聴く」ことでふとした気づきが生まれたり、少し楽になったり。
困難解決や悩みの除去にとらわれず、丁寧に自分に触れる時間。そんな時間をご一緒できたらって思います。
聴き合うグループを軸に、時には体験学習をまじえながら、月1回行っています。参加お待ちしています。

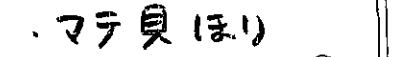
5月25日(木) 13:00〜15:00
場所　もみじの家
(わからない方はおたずねください)
内容　フィーリンググループ
・自分の気もちを味わう時間。メンバーの気もちを聴き合う時間。
※参加される方は事前におしらせください。
当日でもOKです。



21日 かわむら ぎんつきくん (6さい) おたんじょうびおめでとう！

5月のスタッフプラン

・のいちごつみ
・マテ貝ほり



30日(火)おべんとうのひ
※おべんとうの準備をおねがいします。(行き先は未定です。)

＿＿＿＿の様子をおしらせします

思いがけず、プラナサージョガの体験を地元でする機会をもらった。せっかくだから行ってみよう。「力をぬいてリラックスしていて下さいね。」そのひとことで私は力が入り緊張してしまうのだ。「ゆだねよう」目をとじた。久々の感覚だった。相手が自分を感じようとしているのを感じていた。そして、大事に触れられていると感じていた。　私は、空っぽになりたい と思っていた。　でも、頭をいっぱい使っているようでもあった。
体は正直だ。私は、きゅっと緊張する。その緊張を愛しくも思っていた。そして、おわった時に体がほぐれている自分がいた。
4月。心の中はたくさんのことが起こっていたし、体も頭も疲れていたと思う。
気力がわかないことに動揺した日もあった。家族って何？親子って何？保育って何？私って何？あいかわらずもどかしく心の中をぐるぐるするものがある。細心の注意をと思っていても いたらない日もあった。
ゆるやかにのびやかにやりたくてもなかなかそのようにもいかないこともある。でも、すべてに「今は」というのをつければ何かとらえ方はかわる。「今」は、気力がわかない、とか、「今」はぐるぐるだ、とか「今」はつらい、とか「今」は思うようにいかないね、とか。
空をみて気もちいいねーと思っても、草にねころがっても「今」は緊張と一緒にいるんだ。私。
私が緊張してると そりゃ子どもも まわりも緊張するでしょ、という話になると、うーん、それは少なからず"ある…か。でも「今」はそうなんだ。
全体を見渡せば、全部OKなのにはちがいない。こどもたちはもう、ここにいる。私もここにいる。そこに関わる人たちがここにいる。実際に共につくっている素敵な日々がある。
4月がおわると空っぽになりたくなる。私には それが必要。そして、もう1回 こどもたちとていねいにひとつひとつはじめたい「今」

宮野 嘉子

よっこのちょこっとおうちえん日誌 〜日々のあれこれ〜

鼓ヶ浦ですごす。海、まもないだろう、そんな気温になるだろう。と思って、鼓ヶ浦に来てみたが、思ったより天気よくなかった。しかも、海は冷たかった。でけど、みんなよくあそんだなぁ。
(かいり)(かほ)は石々家どりをしていた。(かいり)はやねのある家。2人とも床にモたい石をしきつめている。
ももちせん、山(かほ)(きょう)(ゆずき)(こと)(うた)(ちほ)は海に入っていく!!
(うた)は温泉ごっこに夢中。わたしはカニさがしたり(ゆま)と石であそんだりした。浜はアメフラシの卵がいっぱい。(しおん)はアヒルの形の石をみつけていた。(しょうま)(ふう)はあっちーと岩場に見とりに。(ふう)が行くのが新鮮。いいね！そしてとってきたかめのてを浜でやいてたべていた。おべんとうたべて午後は海入るー！と入ってみた。冷たい。でも、なんか慣れてきた。頭月はどんどん手に入っている。あー!! さかないるよ、さかな!! ちびっこいめだかみたいなのが多数でおよいでる。それを(けいご)(ゆま)(ふう)と追いかけた。あーん、あみもっていったらとれた！ほうしですくいたいあたしたち。あっちーが追いこんでくれるのだがうまくいかなかった。
午前中に、ももちゃんたちが岩場で温泉といって海月だまりに入ってた。そこへいってみた。(けいご)(しお)(ゆま)(かいり)(ゆずき)と。そして入ってみる。うーん、海よりはちょっとぬるいかねー。そしたら、こんどはがけのぼりがはじまった。(かいり)(しお)(けいご)がやれば、(ゆずき)も(ゆま)も行きたいのだ。いやー(ゆま)行くのね。木のぼりにつづきがけでも行く。(ゆずき)は、「ここまでしか行けん。」といっておりた。それもまたリッパな判断ね、と思う。自分の力量がわかってるし、気もちに正直だ。「よんだか海はどんどんまた干いて、あー!! モズクとれてる!! (しょうま)(かほ)あっちー、ももちゃんがたんのうしていた。モズクとれるときに来たの何年ぶりか。あー 私もとりたかった!!!　(4/21)

うさぎの原っぱ
(けいご)がちょうちょとりしながら、
「うわ！すばらしいね!!」
(すばしっこいのこと)
しばらくするとまた、
「うわ！このトンボ、すばらしいね!!」
(4/10)

(かほ)がちょうちょのとれない私に
「また、よっことれんね。
とれたらいいね！」と言った。
前は、「また、よっこだけとれんね。」と言っていた。
なんか言い方がかわった。
(かほ)のよっこに対するきもちや態度が変わったんだな、と思った。
すごくささいなことかもしれないけど、私には多きな出来事だったな。
(4/11)

ニレの木の下に虫がいた。ハケのりみたいなカナブンみたいな形の。
その虫がなんかかくれたくて、もぐろうとしている？ようにみえたから、そこにいた(しお)(きょう)(ゆずき)は、「あなほりむし」とタロづけてじーっとかんさつしていた。
(4/19)